

山火事・山腹崩壊・地すべり・ 噴火等の災害発生状況調査

評価の観点

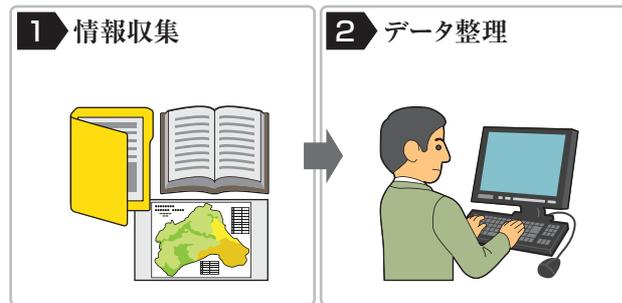
保護林等区分	観 点	調査の 選択
森林生態系保護地域	▶災害がどこで発生しているか。被害状況はどの程度か。	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 選択
生物群集保護林	▶同上	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 選択
希少個体群保護林	▶同上	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 選択
緑の回廊	▶同上	-

山火事・山腹崩壊・地すべり・噴火等の災害発生状況調査(資料調査)

災害履歴情報等(災害復旧、防災関連事業)を利用し、災害種類や件数、面積、分布等を整理する。



手順概要



方法と留意点

1 情報収集

森林管理局または森林管理署、場合によって国土交通省(出先機関)、都道府県の治山関係部局や、市町村の土木事務所等より、保護林もしくは緑の回廊内における災害履歴情報を入手します。

<入手する資料>

- 山火事、山腹崩壊、地すべり、噴火等に関する災害復旧や防災関連事業等の公表資料等(災害区分、発生年月日、災害面積等)

2 データ整理

①災害発生状況調査整理表の作成

前項で収集した資料を様式に整理します。(様式27)

②災害履歴データの作成

災害履歴情報をGISデータとして整理した上で、「保護林情報図」に追加します。位置が大まかにしか分からない場合は、おおよそのエリアを図示します。また、必要に応じて拡大した図面を整理します。(様式28)

③調査資料の整理

収集した調査資料はできるだけデジタルデータとして整理します。調査資料名が分かるよう、様式に整理します。(様式5)

留意事項

① 調査によって、調査手法や調査対象が異なることがあるため、必要に応じて調査手法等を様式の備考に記入します。(様式5)

※なお、モニタリング結果について、結果概要、評価・課題等を分かりやすい形で整理するため、総括整理表を作成します。(様式37または様式38)

GIS データとして整理する調査データの例

調査データ	ファイル名(例)	ファイル形式	属性情報	対応する様式
災害履歴情報	災害履歴_荒尾山 モミ希少個体群保 護林	シェープファイル(ポ イント、ライン、ポリゴ ン)	<ul style="list-style-type: none">• 災害区分• 整理番号• 災害発生日	<ul style="list-style-type: none">• 様式28

- A
- B
- C
- D
- E
- F
- G
- H
- I-1
- I-2
- I-3
- J**
- K
- L
- M
- N
- O
- P
- Q
- R